

共同研技術紹介セミナー

多重免疫染色システム（PhenoCycler® - Fusion）による 空間シングルセル解析と空間マルチオミクス解析用ツールの紹介

日時：2026 年 2 月 5 日（木） 13:30 ～ 14:30（質疑応答含む）

場所：オンライン開催（Zoom）

演者：バイオストリーム株式会社 太田 嘉一 氏（アプリケーション担当）



Webでの参加方法：以下のURLもしくは右のQRコードからご参加してください。

<https://us06web.zoom.us/j/82310309102?pwd=W4cunxX9k7vVxdkNjODgX0gWa0e2MV.1>



・PhenoCycler® - Fusion システム

組織のFFPE切片または凍結切片を用いてシングルセルレベルの解像度で多重免疫染色を実施可能なシステムです。一度に染色可能な抗体数は数種類ではなく、本システムでは ～100種の抗体で実施可能です。

・測定方法

CODEX法を用いています。DNAバーコード抗体と蛍光レポータープローブの結合による検出（3カラー）を行い、そのサイクルを繰り返すことによって多重染色を実現します。

・空間シングルセル解析

シングルセル解析は個々の細胞をサスペンションとして解析する方法として利用されていますが、昨今では、サスペンションではなく、組織の位置情報を保持したまま、それを利用して細胞間や領域間の相互作用を予測する、いわゆる“Spatial Biology”が重要視されるようになっていきます。

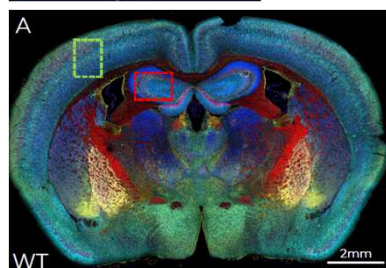
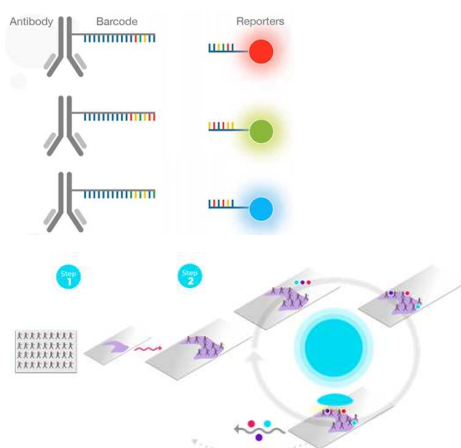
・使用例

免疫チェックポイント阻害剤による免疫細胞分布の解析
頭頸部癌における腫瘍微小環境の空間プロテオミクス解析
アルツハイマー病・脳組織における空間解析 など

・空間マルチオミクス解析

空間シングルセル解析の方法には、抗体によるタンパク質検出の他、RNA 検出の方法も行われており、それらを統合した空間マルチオミクス解析も行われるようになってきています。

本セミナーではPhenoCycler® -Fusion システムの原理と概要、ワークフロー、アプリケーションの他、空間オミクスデータ解析用ソフト（BioTuring社 Spatial X）についてもご案内させていただきます。



機器・セミナー内容に関するお問い合わせ
バイオストリーム株式会社 担当：松本
info@biostream.co.jp



Quanterix®



© 2026 Quanterix. All rights reserved.